

この事務連絡は、アフリカ5カ国に社員・職員の方々の派遣等をされている又はされていたことを現時点で厚生労働省が把握している企業・団体には直接ご送付申し上げていますが、直接お送りしていない企業・団体等におかれても、他社・他団体からの情報提供等を受けた場合や、個人の方であっても、ご遠慮なく、下記担当連絡先まで、ご相談・ご照会いただきますよう、お願い申し上げます。

事務連絡
平成26年9月10日

アフリカ5カ国に
社員・職員が滞在等され(てい)る企業・団体 御中

厚生労働省 検疫所業務管理室

エボラ出血熱の感染拡大に伴い、アフリカ5カ国に
出張・赴任・滞在され(てい)る社員・職員の方にお
伝えしたい事項について

日頃より、検疫業務にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、アフリカの一部の国でエボラ出血熱が発生しており、世界保健機関（WHO）の報告によると、ギニア、リベリア、シエラレオネ及びナイジェリアにおいては、4,290人の患者のうち2,296人が死亡（平成26年9月6日現在）、コンゴ民主共和国においては、53人の患者のうち、31人が死亡（平成26年9月2日現在）しています。

このエボラ出血熱のウイルスに感染すると、2～21日の潜伏期の後、突然の発熱等の症状が現れるとされています。また、感染は症状が出ている患者の体液等やエボラウイルスに感染した野生動物（オオコウモリなど）に触れた際に起こり、一般的には、症状のない患者からは感染せず、また、空気感染もしないとされています。

なお、ギニア、リベリア及びシエラレオネについては、現在、外務省が不要不急の渡航の延期及び在留邦人に対しては早めの退避を検討するよう促しているところです。

このような状況を踏まえ、厚生労働省検疫所においては、各空港等でポスターの掲示やアフリカ5カ国（ギニア、リベリア、シエラレオネ、ナイジェリア、コンゴ民主共和国）から帰国した場合は検疫官に申し出るよう検疫ブースにて呼び掛けを行うとともに、航空会社に同趣旨の機内アナウンスについて協力をお願いしているところですが、さらに、現地に出張・赴任・滞在（以下「滞在等」）され(てい)る方々への必要な情報の提供と検疫所からのお願いを周知すべく、今般、本事務連絡をもって、ご連絡を申し上げるものです。

アフリカ5カ国に社員・職員の方が滞在等され(てい)る企業・団体におかれましては、下記の点について、可能な範囲内で、特段のご協力等を賜ります

ようお願い申し上げます。

※ WHOによる緊急事態宣言の内容は以下URLのとおりです。

<http://www.forth.go.jp/topics/2014/08082224.html>

担当連絡先：厚生労働省医薬食品局食品安全部
企画情報課検疫所業務管理室
検疫業務係

電話：03(5253)1111(内線2468、2465)

電話：03(3595)2333(直通)

Fax：03(3591)8029

メール：keneki-gyomu@mhlw.go.jp

記

関係する企業本社・団体本部等におかれましては、アフリカ5カ国に滞在等され(てい)る社員・職員の方(家族の方を含む。以下同じ。)に対して、エボラ出血熱の感染を予防するために必要な情報等を提供するとともに、帰国の際には確実に検疫を受けていただきますよう、以下の点につき、ご協力等を賜りますようお願い申し上げます。

1 滞在等され(てい)る社員・職員の方等への企業本社・団体本部等からの情報提供

エボラ出血熱の感染を予防するために必要な情報等を提供するため、必要に応じ、アフリカ5カ国に滞在等され(てい)る社員・職員の方等に別添の「出張・赴任・滞在され(てい)る方への案内」を配布するなどしていただきますようお願い申し上げます。

2 社員・職員の方等が帰国される際の、検疫所への申し出

社員・職員の方等が帰国される際には、本邦内で最初に到着した空港の検疫所の検疫官に対し、アフリカ5カ国に滞在していた旨を申し出るよう、ご連絡・ご依頼をお願い申し上げます。

また、検疫所においては健康相談等を行っておりますので、帰国の際に健康状態に不安がある場合、関連情報をお知りになりたい場合など、遠慮なく、ご利用下さい。

3 その他参考資料

別添のとおり、「出張・赴任・滞在され(てい)る方への案内」及び「エボラ出血熱に関する周知ポスター」をご送付いたしますので、必要に応じ、企業・団体内における各種対応の際に、ご活用ください。

※ 厚生労働省エボラ出血熱に関するURLは以下のとおりです。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ebola.html>

アフリカ5カ国（ギニア、リベリア、シエラレオネ、
ナイジェリア及びコンゴ民主共和国）に出張・赴任・
滞在され(てい)る方へ
(出張・赴任・滞在され(てい)る方への案内)

現在、アフリカ5カ国（ギニア、リベリア、シエラレオネ、ナイジェリア及びコンゴ民主共和国）ではエボラ出血熱が発生しています。

アフリカ5カ国に向けて出張・赴任・滞在（以下「滞在等」）され(てい)る方は、下記のエボラ出血熱に関する基礎情報をお読みいただいた上で、現地では、野生動物には触れないなどエボラ出血熱の感染に十分ご注意ください。行動いただきますよう、お願い申し上げます。

また、日本に帰国した際には、下記のとおり、空港での検疫にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

【エボラ出血熱について】

○ どのような病気か

エボラ出血熱は、エボラウイルスによる感染症です。エボラウイルスに感染すると、2～21日（通常は7～10日）の潜伏期の後、突然の発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、咽頭痛等の症状を呈します。次いで、嘔吐、下痢、胸部痛、出血（吐血、下血）等の症状が現れます。

現在、エボラ出血熱に対するワクチンや特異的な治療法はないため、患者の症状に応じた治療（対症療法）を行うこととなります。

○ どうやって感染するか

エボラウイルスに感染し、症状が出ている患者の体液等（血液、分泌物、吐物・排泄物）や患者の体液等に汚染された物質（注射針など）に十分な防護なしに触れた際、ウイルスが傷口や粘膜から侵入することで感染します。

一般的に、症状のない患者からは感染しません。空気感染もしません。

また、流行地では、エボラウイルスに感染した野生動物（オオコウモリ（果実を餌とする大型のコウモリ）、サル、アンテロープ（ウシ科の動物）等）の死体やその生肉に直接触れた人がエボラウイルスに感染することで、自然界から人間社会にエボラウイルスが持ち

込まれていると考えられています。

○ 注意すべきことは

エボラ出血熱を予防するためのワクチンはありません。エボラ出血熱の流行している地域に立ち入らないことが重要で、不要に患者に接触することや動物の死体に近づくこと、生肉を食べることは避けてください。

【日本に帰国されたときには】

- 日本の各空港においては、通常より日本に入国される方に対して、サーモグラフィーを用いて、発熱等の症状がないか確認しており、これに加えて、現在、検疫ブース等で、アフリカ5カ国に滞在された方は検疫官に申し出るようポスターやアナウンスにて呼びかけを行っています。
- また、アフリカ5カ国に滞在等された方に対しては、検疫所の健康相談室等で、念のため健康状態の確認、患者等との接触歴などの聞き取りを行うほか、健康相談に応じています。
- このため、日本に帰国される際には、本邦内で最初に到着した空港の検疫所の検疫官にお声がけいただき、アフリカ5カ国に滞在していた旨をお伝えていただくよう、お願いいたします。

○ お困りごとなどがあれば、お気軽にお問い合わせください。

- ・厚生労働省 検疫所業務管理室 電話：03(3595)2333（直通）（平日）
メール：keneki-gyomu@mhlw.go.jp
- ・厚生労働省 成田空港検疫所：0476-34-2310（6:00～23:00）
- ・厚生労働省 東京空港検疫所支所：03-6847-9312（24時間対応）
- ・厚生労働省 関西空港検疫所：072-455-1283（24時間対応）

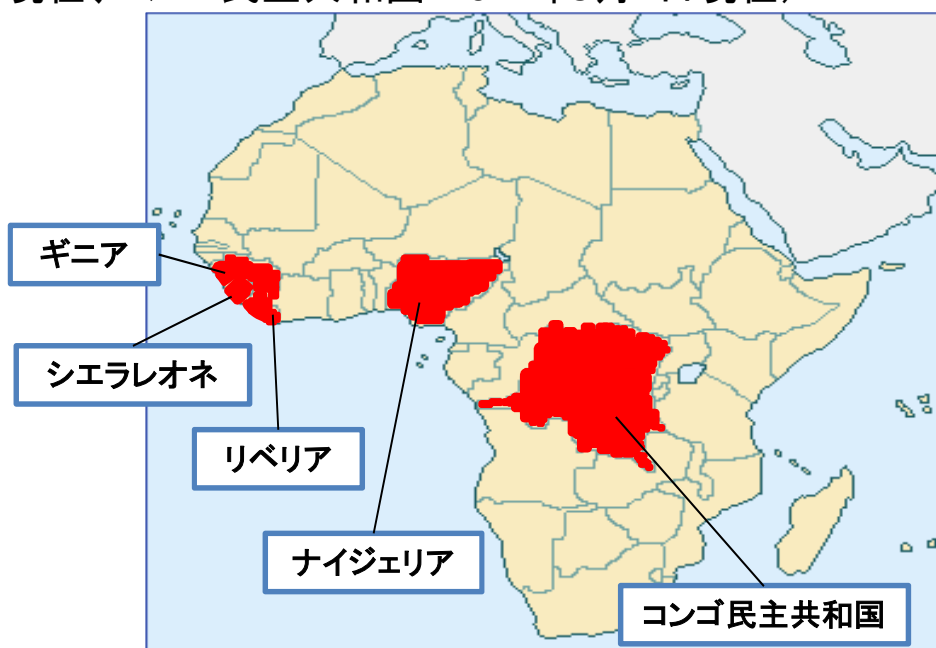
アフリカで エボラ出血熱が発生しています！

WHOの情報によると、アフリカ5カ国(ギニア、リベリア、シエラレオネ、ナイジェリア、コンゴ民主共和国)においてエボラ出血熱が発生し、4,343名の患者が報告され、このうち2,327名が死亡しました。(ギニア、リベリア、シエラレオネ、ナイジェリア:2014年9月6日現在、コンゴ民主共和国:2014年9月2日現在)

<患者等の発生状況>

- ギニア
862名(555名)
- リベリア
2,046名(1,224名)
- シエラレオネ
1,361名(509名)
- ナイジェリア
21名(8名)
- コンゴ民主共和国
53名(31名)

※括弧内は死亡者数を再掲。



エボラ出血熱 は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触することにより感染し、死亡率の高い(25~90%)病気です。

潜伏期間は、2~21日(通常は7日程度)で突然の発熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、咽頭(のど)痛で発症します。それらに引き続き、嘔吐、下痢、腎機能や肝機能の低下がみられ、進行すると全身に出血傾向がみられ死亡します。

アフリカ5カ国(ギニア、リベリア、シエラレオネ、ナイジェリア、コンゴ民主共和国)に出張等で行かれる場合は、帰国時に健康状態等をお尋ねいたしますので、必ず、帰国された空港の検疫官にお申し出ください。



厚生労働省 検疫所